英語の「卒業論文」の書き方

目　次

 I. 「卒業論文」の書式について page 1

 II. Bibliography (参考文献一覧, 文献目録等) について page 2

 III. 引用および脚注について page 4

 Appendix (文献について補足) page 7

I. 「卒業論文」の書式について

1. 構成

a. 表紙 （文学部で共通のものを使用）

b. 目次 (Contents) 1枚

c. 本文 14枚以上 (1ページ２８行) (表紙，目次，参考文献一覧は含めない)

d. 参考文献一覧 最後に文献資料のリストをつける．文献目録，Bibliographyともいう．

e. ページ番号 本文のフッターにページ番号を付ける． 挿入 - ページ番号

f. 脚注 (notes) Wordの脚注機能を利用するとよい．参考資料 - 脚注の挿入

2. 手書きは不可．コンピュータ等のワープロを用いて印刷すること．

 以下，Microsoft Wordを使用するものとして説明する．他のワープロを使用の場合もこれに準ずる．

3. ﾍﾟｰｼﾞ設定 ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ - ﾍﾟｰｼﾞ設定 (行数のみ指定して，１ページ２８行とする)

a. 用紙サイズ A4 縦(ﾀﾃ) (標準設定)

b. 余白 上 35 mm 下 30 mm 左 30 mm 右 30 mm (標準設定)

c. 文字数 40文字 (標準設定)

d. 行数 行数: ２８行に指定する

4. 文字の書式 (標準設定のまま)

a. フォント(書体)・サイズ: Century, 　10.5ポイント

5. 段落の書式 (本文)

a. 段落の最初の行は，その印として「字下げ」する．

b. 英語の場合の字下げ幅： 全角2.5字（半角スペース5個分）．

6. 引用（詳しくはIIIを参照）

短い引用は，本文に組み込むとよい．長い引用には，「引用の段落」を作る．

II. Bibliography (参考文献一覧, 文献目録等) について

1. 英語など欧文の書籍名・作品名等の書き方

1.1. 大文字の使用について

 a. 大文字で始める語: 主要語 (名詞, 代名詞, 動詞, 形容詞, 副詞, 従属接続詞)

 最初の語，最後の語

 b. 大文字で始めない語: 冠詞, 前置詞, 等位接続詞

1.2. 書籍・新聞・雑誌等の名は *Italics* (斜体) にする．

 E.g. *Raise the Titanic Romeo and Juliet What Are You Looking For?*

 *Look at Me* *The Lost World* *For Whom the Bell Tolls*

1.3. 題名 (短編集の中の短編名，論文名，詩の題名など) は “ ” で囲む．

 E.g. “Why Isn’t Melville for the Masses?” (論文名)

 “The Snows of Kilimanjaro” (短編集の中の短編名)

 “On First Looking into Chapman’s Homer” (詩の題名)

2.1. 著者名，発行年，書名等の並べ方は，大きく分けて3種類ある．どれを使うかは指導教員の指導を受けること．いずれにしても，著者名や書名をそれぞれ1つの文と考えるとよい．なお，英語の場合，著者名は,，「姓，名」とする．

2.2.1. MLA方式（文学）

(a) 著者名. (b) 書名or題名. (c) 発行項目 [発行地・発行所・掲載書・発行年等].

2.2.2. 英語学

(a) 著者名. (b) 発行年. (c) 書名or題名. (d) 発行項目 [発行地・発行所・掲載書等].

2.2.3. APA方式

(a) 著者名. (b) (発行年). (c) 書名or題名. (d) 発行項目 [発行地・発行所・掲載書等].

2.3.1 英語の場合の具体例．次のFryeの著書を3方式で下に示す．

 (a) 著者: Northrop Frye 🡪 Frye, Northrop 著者名は姓を先にしてカンマで区切る

 (b) 発行年: 1957

 (c) 書名: *Anatomy of Criticism: Four Essays* (副題 (*Four Essays*) も入れる)

 (d) 発行項目: 発行地: Princeton, 発行所: Princeton Univ. Press

2.3.2. MLA

Frye, Northrop. *Anatomy of Criticism: Four Essays.* Princeton: Princeton Univ. Press, 1957.

2.3.3. 英語学

Frye, Northrop. 1957. *Anatomy of Criticism: Four Essays.* Princeton: Princeton Univ. Press.

2.3.4. APA

Frye, Northrop. (1957). *Anatomy of Criticism: Four Essays.* Princeton: Princeton Univ. Press.

2.4. 著者が複数の場合（表紙に記載された順序とする．ABC順などとはしない．）

2.4.1. 著者が2人で英語の場合

 最初の著者は「姓, 名」 (上の3.3と同じ)，2番目の著者名は通常通りの順で，andでつなぐ．

 John Samuel Kenyon と Thomas Albert Knott の共著ならば，

 Kenyon, John Samuel and Thomas Albert Knott.

2.4.2 著者が3人以上で英語の場合

 最初の著者は「姓, 名」，2番目以降の著者名は通常通り．カンマとandでつなぐ．

 Randolph Quirk, Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech, Jan Svartvik の共著ならば，

 Quirk, Randolph, Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech and Jan Svartvik.

 (andの直前のカンマの有無はどちらかに統一するとよい)

2.5. インターネットからの文献

Webに公開された日付とアクセスした日付を明記する[[1]](#footnote-1)．

MLA

Fogarty, Mignon. “Affect versus Effect.” Quick and Dirty Tips Website. 14 Oct. 2006. <http://grammar.quickanddirtytips.com/affect-versus-effect.aspx> (November 15, 2007).

英語学

Fogarty, Mignon. 2006, October 14. “Affect versus Effect.” *Quick and Dirty Tips Website.* http://grammar.quickanddirlytips.com/affect-versus-effect.aspx (accessed November 15, 2007).

APA

Fogarty, M. (2006, October 14). Affect Versus Effect. *Quick and Dirty Tips Website.* Retrieved November 15, 2007, from http://grammar.quickanddirlytips.com/affect-versus-effect.aspx

2.6 参考文献一覧, 文献目録中の並べ方

a. 英語の場合： 著者の姓名のアルファベット順．

c. 同一の著者が並ぶ場合: 発行年の順に並べる．

III. 引用および脚注について

1. 引用のしかた

　文学作品の原文，いろいろな研究書や参考書からの文や文章を使う場合，2つの方法がある．

1.1 短い文や数語ほどのものならば，本文中に挙げて，引用符 (“ ”) で囲む．

 例: “My heart aches, and a drowsy numbness pains” (Keats, “Ode to a Nightingale”, line 1)

 (詩歌では，その詩の行やstanzaで引用元を示す場合もある．)

1.2 長い引用部分は，次のように，段落の書式を使って，左のインデントを右に動かす：

このように別の段落を作って本文と区別する．左インデント幅5字．引用は出典を必ず明記する．原文に変更を加えないこと．この1つ目の段落の最初の行は「字下げ」しない．

このように1つの引用の中に段落が2つ（以上）ある場合には，2つ目以降の段落の最初の行は「字下げ」する．

2. 引用の出典の書き方

引用には，簡略にその出典を明記する．上のIIで述べた参考文献一覧に参照できるようにする．下の例は，脚注での書き方であるが，本文中や引用直後では丸かっこでくくる．

a. MLA

著者と作品名の略称を用いる．略称の後に掲載箇所等を付ける．

例 Shakespeare, *Lear*, III. 6.33. = William Shakespeare　の*King* *Lear*の第3幕第6場第33行目．

 James, *Wings* 224-225. = Henry James の *The Wings of the Dove*の224～225頁．

 Hemingway, “Cat” 315. = Ernest Hemingway の “Cat in the Rain”． (315は短編集のページ)

 本文中では，(Shakespeare, *Lear*, III. 6.33), (James, *Wings*, 224-225), (Hemingway, “Cat” 315).

b. 英語学

本文中や脚注で，「著者の姓 (出版年)」または「著者の姓 (出版年: 掲載頁)」という形式で示す．

例 Chomsky (1957: 68). 本文中では，(Chomsky (1957: 68))

c. APA

例 Chomsky, 1957, p. 68. 本文中では，(Chomsky, 1957, p. 68)

d. 辞書等は，辞書等の一覧を作り，題名の略語で参照することもできる．

例 『ランダム英和大』: 『小学館ランダムハウス英和大辞典』．第2版．1994．小学館．

*OALD*8: *Oxford Advanced Learner’s Dictionary of Current English*. Eighth edition. 2010. Oxford: Oxford University Press.

3. 著者が複数の場合

a. 著者が2人の場合: Kenyon and Knott

b. 著者が3人以上の場合: （ 最初の著者の姓のあとに et al. をつける): Quirk et al.

4.1 引用の直後に出典を示す場合

“One Sigourney Weaver and one Will Smith.” Liz Ortecho slid two thick burgers onto the table—one with avocado and sprouts, one with jalapeno peppers and cheese. (Metz, *Outsider* 1)

4.2 脚注を利用して出典を示す場合

 英語の場合，引用の最後のピリオドの直後にカーソルを置いて，脚注の操作をする．

 参考資料 - 脚注の挿入 (そのページの下 (足の部分) に脚注番号付きで入力できる)

He should never have taken that shortcut.

 Dan Baker winced as his new Mercedes S500 sedan bounced down the dirt road, heading deeper into the Navajo reservation in northern Arizona. Around them, the landscape was increasingly desolate: distant red mesas to the east, flat desert stretching away in the west.[[2]](#footnote-2)

4.3 短い言葉・文を本文中で使う場合

 a. ある人の言葉を本文の中で使うときは，引用符を用いる．

 Frye (1982: 72) says, “The other source is that of creative or productive human work.”

 “The other source is that of creative or productive human work.” (Frye, *Code* 72)

 “The other source is that of creative or productive human work.”[[3]](#footnote-3)

 b. なお，共著の場合は複数扱い．

 Kenyon and Knott (1953) say so.

 Quirk et al. (1985) think that way.

5. 引用中の中略について

 a. 引用の中略は好ましくないので，できる限り避けることが望ましい．

 b. やむをえない場合，英語では，ピリオド3個で中略を表す．ピリオド間にはｽﾍﾟｰｽを入れる．

Dan Baker winced as his new Mercedes S500 sedan bounced down . . . to the east, flat desert stretching away in the west.[[4]](#footnote-4)

6. 脚注

6.1 脚注の目的

 a. 補足的な説明など

 b. 参考書の紹介など

 c. 引用の出典

6.2 脚注の付け方

 a. 脚注機能を利用し，脚注を付けたいところにカーソルを置いて次の操作をする．

 参考資料 - 脚注の挿入

 （英語の場合，句読点の直後，日本語では句読点の直前とする．）

c. カーソルがﾍﾟｰｼﾞの脚の部分に移るので，入力する．

7. 参考文献

 ジバルディ，ジョゼフ．1990．『MLA英語論文の手引　第3版』．北星堂書店．

 ジバルディ，ジョゼフ．2005．『MLA英語論文の手引　第6版』．北星堂書店．

 *The Chicago Manual of Style*. Fifteenth edition. 2003.

1. 例は，次を参考にした：Fogarty, Mignon. 2008. *Grammar Girl’s Quick and Dirty Tips for Better Writing*. New York: Henry Holt and Company. 166. [↑](#footnote-ref-1)
2. Crichton (1999: 3). (脚注の場合は，このように最後にﾋﾟﾘｵﾄﾞを打つ) [↑](#footnote-ref-2)
3. Frye, *The Great Code* 72. (このように脚注を使ってもよい) [↑](#footnote-ref-3)
4. Crichton, *Timeline* 3. また，日本語は，（中略）とする．3.bの引用を参照． [↑](#footnote-ref-4)